

日本ジャーナリスト会議が全国交流集会・「沖縄平和の旅 3 日間」を開催されました。ジャーナリストでなくても、関心のある人は誰でも参加できるということでしたので、夫と共に、九条の会の友人たちと参加しました。今年は戦後 70 年の節目の年であり、安倍政権が安保法制を大きく転換した激震の年です。そして、オール・沖縄の民意を集結した翁長知事が辺野古への基地移転を拒否し、政府と対決している時です。

15 年以上も前に、私は教会の女性 6 人、青年 2 人と一緒に、沖縄へ「戦跡めぐりの旅」をしました。その時、沖縄クリスチャンセンター・宜野湾セミナーハウスの代表である又吉京子さん(前列右)が精力的に、また、丁寧に、基地、戦跡、記念館などを案内して下さいました。また、沖縄の伝統文化を紹介して下さいました。沖縄の自然にも触れ、本当に充実した旅だったことを今でも感謝しています。



今回はジャーナリスト、マスコミ関係者の企画でしたから、現場を見ること、さまざまな事実を正確に伝えること、その背景を知ること、そして、どう報道するかという視点から、沖縄の現実を理解することが主眼となりました。10 月 16 日に、羽田空港に集合したジャーナリズム関係の皆さまは第一線を退かれたような年配の方々でしたが、眼光鋭く、渋めで、さっそうとしているようにお見受けしました。私たちの 9 条の会からのグループは、90 歳の誕生日を明日に迎える孝子さん始め、女性が 4 人に男性 2 人です。元気度、華やか度はこちらが高そうに見えました。



早朝に家を出た時、小雨のような感じでしたが、飛行機で飛びあがったら、眼下に初冠雪したばかりの富士山が見えました。富士山はいつ見ても美しいと感じます。富士山の向こうに、遠く、八ヶ岳や、北アルプスの山並みが見えました。飛行機は、南アルプスの深い山壁の上を飛び、浜松、三重をかすめて、太平洋に出て行きました。沖縄に近づくと、眼下にサンゴ礁に囲まれた島々が見えてきました。島はターコイズブルーの水域と白い波に縁取られ、そして、青い海が広がっていました。本当に美しい、穏やかな眺めでした。2 時間 40 分のフライトでした。

那覇に到着して、沖縄タイムスのギャラリーへ直行しました。そこで、沖縄タイムス社と琉球新報社の記者たちのお話を聞きました。この両紙は本土の政権サイドから、偏向報道していると叩かれ、事実誤認の主張をネット上に展開する百田氏などからの攻撃にさらされています。また、沖縄でも基地反対派が選挙で当選したため、危機感を募らせる団体から、憎悪、不満を持たれているとのこと。

記者たちは、復帰 43 年の沖縄の現状を、まず、経済の面から、沢山の資料をもとに話されました。沖縄振興予算により、また、観光収入増加により、県民総所得は 8 倍に拡大してきました。同時に基地関連収入は 15% から 5% になり、基地経済依存度も大幅に低下しています。そして返還された基地の跡地利用で、返還前の 28 倍の経済効果が出たことが明らかになっています。その中で、あまりに多い基地による問題が全く解決されていないばかりか、オスプレイ配備、増強などで県民の苦しみは軽減されて行かないのです。沖縄では当たり前の現実、事実が本土では誤解され、また、理解されていない状況を苦しそうに訴えられました。両社とも、「沖縄を平和の要石」という社是で、是々非々で取材、報道をしているとのこと。

記者たちは、復帰 43 年の沖縄の現状を、まず、経済の面から、沢山の資料をもとに話されました。沖縄振興予算により、また、観光収入増加により、県民総所得は 8 倍に拡大してきました。同時に基地関連収入は 15% から 5% になり、基地経済依存度も大幅に低下しています。そして返還された基地の跡地利用で、返還前の 28 倍の経済効果が出たことが明らかになっています。その中で、あまりに多い基地による問題が全く解決されていないばかりか、オスプレイ配備、増強などで県民の苦しみは軽減されて行かないのです。沖縄では当たり前の現実、事実が本土では誤解され、また、理解されていない状況を苦しそうに訴えられました。両社とも、「沖縄を平和の要石」という社是で、是々非々で取材、報道をしているとのこと。



記者たちは、復帰 43 年の沖縄の現状を、まず、経済の面から、沢山の資料をもとに話されました。沖縄振興予算により、また、観光収入増加により、県民総所得は 8 倍に拡大してきました。同時に基地関連収入は 15% から 5% になり、基地経済依存度も大幅に低下しています。そして返還された基地の跡地利用で、返還前の 28 倍の経済効果が出たことが明らかになっています。その中で、あまりに多い基地による問題が全く解決されていないばかりか、オスプレイ配備、増強などで県民の苦しみは軽減されて行かないのです。沖縄では当たり前の現実、事実が本土では誤解され、また、理解されていない状況を苦しそうに訴えられました。両社とも、「沖縄を平和の要石」という社是で、是々非々で取材、報道をしているとのこと。